

# 物流 Weekly



発行人 山田 修樹  
編集人 高田 直樹

http://www.weekly-net.co.jp

毎週月曜日発行

購読料3か月10,500円 振替口座 00950-4-106153

昭和62年11月14日第三種郵便物認可

©物流産業新聞社 2008

物流産業新聞社 大阪本社 | S O 9001:2000認証取得 審査登録機関:LRQA

東京本社 東京都新宿区舟町7(ロクサンビル4F) ☎03(3226)9371(代)  
中部本社 名古屋市中区尾頭町2-2 ☎052(681)2230(代)  
大阪本社 大阪市東住吉区山坂4-15-14 ☎06(6608)0501(代)

全国10拠点をネットワーク

## 関東、関西に資源集中

### 「大型施設のニーズ減らない」

物流不動産のプロロジス(山田御酒アレジデント兼日本共同CEO、東京都港区)は、付加価値の高い施設を提供することで、入居企業から大きな支持を獲得。現在、日本国内で九十棟、総延べ床面積四百二十五万九千七平方メートルの物流施設を運営(開発・計画の中のもの含む)している。

### プロロジス

### トータルで効率化貢献

六月には、成田空港に蓄積してきたノウハウを「プロロジス」が生かされた施設に「パーク成田Ⅲ」(千葉県山武郡、延べ床面積七万七千六百九十平方メートル)を竣工。地上六階建てで、免震構造の採用や、クラック(C/P)対策が施された床施工など、同社がこれまで



山田御酒アレジデント兼日本共同CEO

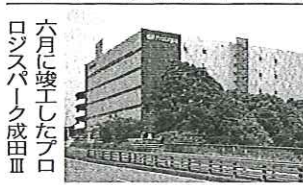
### シリーズ・物流不動産①

仕上がっている。同社施設のエリア別立地状況を見ると、関東が五〇%、関西が三〇%、東北、九州、中部で残り二〇%を分け合っている。東名の主要都市圏と、福岡・仙台の地方中核都市をある程度カバーしている。同CEOは「関東と関西に資源を集中させる」という「回帰」戦略を描く。

「経済に不透明感が出てきた時は、最も大規模な先行きを見越して、今年・来年に出ているであろう主要マーケットの新たな需要に対応できるように、昨年からの準備を進めてきた。今年の最終クォーターで、関東・関西で大型案件をスタートさせる予定もあるという

う。同社の最大の特徴は「全世界のネットワーク」。「経済状況が厳しい局面にある時こそ、機能性の高い施設を使って全体が沈下している今は、「中・東欧やロシア、インド、中東などに投資資源を集中させている。特に「世界のハブ港」を目指して港や空港の整備が進められているドバイでは、先行投資として大型の投資を行っている」という。

同社は日本でも着実に施設数を伸ばしている。同CEOは「大規模な先行きを見越して、今年・来年に出ているであろう主要マーケットの新たな需要に対応できるように、昨年からの準備を進めてきた。今年の最終クォーターで、関東・関西で大型案件をスタートさせる予定もあるという



六月に竣工したプロロジスパーク成田Ⅲ

http://www.prologis.co.jp/ (村手秋)